

臨床研究に関するお知らせ

榆の会こどもクリニック短期入所利用登録者の医療的ケアに関する調査研究について

研究の責任担当者：須藤 章[†] 研究協力者：高山 留美子[‡]、野呂 歩[‡]、清水 里奈[§]

1. 研究の目的、背景、意義

私たち榆の会は、障がい児者の在宅生活を支援することを理念としており、支援の一つとして短期入所(ショートステイ)事業を積極的に行ってきました。近年、人工呼吸管理や胃瘻からの栄養注入などの医療的ケア児者が在宅で生活されることが多くなり、レスパイトを目的として、当院の短期入所の利用希望者も増えています。けれども残念ながら、ベッドの空床状態や、スタッフの受け入れ体制の困難さにより、利用者のご希望に添えないことも少なくないのが実情です。そこで、最近の短期入所の利用状況と医療的ケア度との関係を調査することで、どのようにすることで、利用が可能となりやすいかを検討したいと考えています。

2. 対象

2015(平成27)年4月以後に当クリニックと短期入所利用の契約をされた患者さんを対象とします。

3. 方法

診療録および看護記録より、現在の年齢、病名、医療的ケアの内容、そのケアを開始した年齢、短期入所の利用状況(宿泊の有無や利用日数)、利用中の経過(特に体調不良の有無)、医療的ケアが加わることで短期入所を利用する場合のメリットやデメリットなど調査します。実際に利用できなかった患者さんについては、その理由も調査項目とします。

4. 研究における倫理的配慮について

本研究は過去の診療記録及び看護記録の調査研究ですので、患者さんの健康に直接影響を及ぼしません。個人情報の管理には細心の注意を払って調査いたします。調査研究の結果を関連の学会や論文で発表させて頂くことがあります。病名や年齢、医療的ケアの内容と短期入所利用日数との関連などの調査結果が含まれますが、個人が特定されるような内容が発表されることはありません。詳しい治療経過などを学会等で報告させてもらう場合には、あらかじめ、該当患者さんおよび保護者に、その内容を説明してご理解を頂いた上で、同意書を頂く形で承諾してもらいます。

研究対象に該当するかどうか否かにより、短期入所の利用や実際の診療に影響することはありませんし、研究にご協力頂けない場合でも、不利益を受けることはありません。この研究にご賛同頂けない患者さんは、お手数ですが、スタッフまでお声がけ下さい。

(本研究の概要に関しては、2022年11月24日に開催された榆の会理事会で承認されました)

2022年11月28日
社会福祉法人 榆の会
こどもクリニック 院長

* 本研究の一部は、2022年度 社会福祉法人榆の会 全体研修において、「分科会」当院短期入所事例からみた胃ろう増設タイミングの検討・地域医療連携室の取り組み」として、本法人の職員に向けて報告しています。

[†] 社会福祉法人 榆の会 こどもクリニック 院長

[‡] 社会福祉法人 榆の会 こどもクリニック 医師

[§] 社会福祉法人 榆の会 こどもクリニック 看護師